

きずな — 絆 —

会長挨拶

丸森町姉妹都市交流協会 会長 船山 雅弘

日頃より、当協会の活動につきまして御理解と御協力を賜り心から感謝申し上げます。

さて、北見市端野町と姉妹都市を締結してから、来年で20周年の節目を迎えます。これまで、交流事業を通して人とモノの交流が生まれ、多くの絆が育まれてきたことは、会員の皆様の御尽力により培われてきたものと感じており、あらためて関係各位に対してお礼申し上げます。

今年度の交流事業につきましては、既にふるさと子ども交流事業がスタートしております。今年は16名の定員に対して19名の応募があり、抽選会により団員を決定しました。選ばれた団員の皆さんには、丸森町の代表としての積極的な活動を通して、端野町の子どもたちとの友情を育み、多くの思い出を作ってもらうことを期待しております。そして、その思い出や楽しさを多くの友人や後輩に伝えていただきたいと望んでおります。

また、先月末には、念願であったアメリカヘメット市から訪問団が来町し、約1週間の短い期間でしたが、町内の中学生宅にホームステイを行ってもらいました。今回は7名の方(ミドルスクール生徒4名、引率者3名)が来町され、滞在中は、丸森中学校での授業体験や町内見学、被災地見学など有意義な体験を行っていただきました。訪問団の受入につきましては、丸森中学校をはじめ、ホームステイを受入れていただいた御家庭の皆様に対してこの場を借りて心より感謝申し上げます。ヘメット市教育委員長からも手紙で受入に対する感謝の意を頂戴しており、これを機会にヘメット市との相互交流が継続できればと願っております。

最後に、来年度の端野町との姉妹都市締結20周年記念事業に向けて、今年度はサミットの開催を計画しております。当協会では、多くの町民の方々が交流事業に参加されることで「交流の輪が大きくなること」を望んでおります。サミットを契機として、さらなる交流推進のため、各種事業や交流活動のあり方などを検討してまいりたいと考えておりますので、今後も御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成 26 年度ヘメット市親善訪問団派遣事業 事業報告

平成 27 年 3 月 22 日～4 月 2 日の 12 日間にわたり、アメリカのヘメット市へ 10 名（中学生 8 名、引率者 2 名）の訪問団を派遣しました。ヘメット市への親善訪問団派遣事業が平成 5 年に始まって以来、17 回目の派遣となりましたが、団員の 8 名は、現地の家庭にホームステイをしながら、ヘメット市にあるダートマス・ミドルスクールに 5 日間通い、ホストファミリーやミドルスクールの学生と交流を深め、楽しく過ごして来ました。団員達は文化の違いに衝撃を受けながらも、アメリカ文化を知ることで、日本文化の良さ、丸森の良さにあらためて気づくことができたようです。また、文化は違っても、人の温かさや親切は世界共通であることも知ることができたようです。

ダートマス・ミドルスクールでは、日本文化を紹介するプレゼンテーションを行いました。これは事前研修で何度も練習し準備したものです。「けん玉」と「習字」について英語でプレゼンテーションを行い、ミドルスクールの学生に実際に体験してもらうことで、日本文化を楽しんでもらいながら伝えることができました。

なお、平成 27 年 6 月 3 日に報告会を開催し、保護者の方や役員等に、ヘメット市での活動報告を行いました。

ホストファミリーと



ダートマス・ミドルスクールにて



グランドキャニオン



プレゼンテーションの様子



報告会の様子



平成 27 年度ふるさと子ども交流事業 北見市端野町へ行ってきました

平成 27 年 8 月 3 日（月）～ 6 日（木）の日程で、丸森町子ども交流使節団が北見市端野町を訪問します。今年は端野町に 2 日間滞在し、端野町の子ども達とたくさんの思い出を作ってきます。また、残りの 2 日間は旭山動物園や札幌市内で自主研修を行い、多くのことを体験してきます。出発までに 4 回の事前研修を行い、団員同士の友情を育み、訪問団の結束も固めます。

【事前研修の様子】



丸森町と北見市端野町について学習しています。

平成 27 年度 丸森町子ども交流使節団団員

団長 船山 和子（丸森町姉妹都市交流協会副会長）

<つつじ班> 引率：谷津晶一（事務局長）

大槻 真温（丸森小 6 年）・窪田 一真（大内小 6 年）

八巻 義伸（小斎小 6 年）・泉 勇斗（大内小 5 年）

窪田 勇翔（丸森小 5 年）

<はっか班> 引率：水上博一（事務局）

市川 瑠唯（丸森小 6 年）・大内 一礼（小斎小 6 年）

佐藤 大生（大張小 5 年）・佐藤 真翔（大内小 5 年）

野田頭大地（丸森小 5 年）

<かたくり班> 引率：伊藤友美（事務局）

谷津 郁美（大張小学校 6 年）・八巻 真央（丸森小学校 6 年）

山田 千晶（館矢間小学校 6 年）・阿部 光里（大内小学校 5 年）

大内 絢加（大内小学校 5 年）・土生 初季（大張小学校 5 年）

平成 27 年度 丸森町姉妹都市交流協会総会の報告について

船山会長を議長として、第 1 号議案から第 4 号議案まで審議いただき承認されました。

日時：平成 27 年 6 月 3 日（水）午後 7 時から 場所：役場 3 階 大会議室

○議案の審議

第 1 号議案 平成 26 年度事業報告について

第 2 号議案 平成 26 年度収支決算報告について

第 3 号議案 平成 27 年度事業計画について

第 4 号議案 平成 27 年度収支予算について

<平成 27 年度 今後の事業について>

- 国内交流事業 ①北見市端野町への子ども交流使節団の派遣 【8 月 3 日（月）～ 8 月 6 日（木）】
②北見市端野町行灯交流事業 【8 月 8 日（土）予定】
- 姉妹都市交流事業 ①北見市端野町「端野農作物産フェア」への参加【10 月中旬予定】
②JA みやぎ仙南フェスティバルへの受入【10 月下旬予定】
③サミットの開催【8 月または 10 月予定】
- 国際交流事業 ①アメリカカリフォルニア州ヘメット市へ親善訪問団の派遣
【平成 28 年 3 月下旬予定】

ヘメット市親善訪問団来町報告

平成27年6月27日～7月5日まで、アメリカヘメット市から中学生4名と引率者3名、計7名の親善訪問団が来町しました。ヘメット市からの訪問は、平成20年度以来、実に7年ぶりの訪問でした。訪問団は町内の家庭にホームステイをしながら、日本文化を体験し、また中学生は丸森中学校に体験入学をしました。

ヘメット市はアメリカカリフォルニア州にあり、年間降水量も少なく乾燥した地域です。日本は梅雨真っ只中、じめじめとした気候が肌に合わないのでは・・・と心配しましたが、意外にもこの湿った空気が気持ちいいとのこと。丸森の自然の香りがとても心地よいと、引率のローリーさんがおっしゃっていました。

＜ヘメット市親善訪問団＞



＜舟下り＞



＜保科町長とヘメット市の中学生＞



＜ユーラス天明ソーラーパーク＞



新規会員募集中

* 姉妹都市交流協会について *

当協会は、姉妹都市(友好都市を含みます。)との交流を通じて、教育・文化・スポーツ等の交流を行い、国外・国内を問わず相互の友好を深め、もって姉妹都市との友好を図るとともに、丸森町のまちづくり推進に寄与するために設置された団体です。姉妹都市交流・国際交流に興味のある方ならどなたでもOKです。是非お知り合いの方にもお声掛けください。会員特典として、会員が端野町を訪問した場合(旅行の際の立ち寄りも可) **会員一人当たり5,000円を助成します。** (ただし、年間一人一回限りです。)

○個人会員年会費:2,000円

○法人会員年会費:8,000円

※ 詳しくは、事務局までご連絡ください。

丸森町姉妹都市交流協会事務局

住所:宮城県伊具郡丸森町字鳥屋120番地

(丸森町役場 企画財政課内)

電話:0224-72-3024 Fax:0224-72-1540

E-mail:kikaku@town.marumori.miyagi.jp

事務局長 谷津 晶一

S T A F F 長門 修・水上博一・加藤浩之

菅野 寛・伊藤友美

【編集後記】

7年ぶりのヘメット市からの親善訪問団の来町は、3月にヘメット市を訪問した際に、長門団長、小川副団長が「丸森にもぜひ来てほしい」とダートマス・ミドルスクールのローリー事務局長にお話しし実現したものです。訪問団の中学生を町議会の議場に案内した際、彼らはいつの間にか「議会ごっこ」を始めていました。民主主義の国アメリカを垣間見たような気がします。文化の違いを感じられる、新鮮な1週間でした。ホストファミリーのみなさん、ホームステイの対応本当にお疲れさまでした。(伊藤)